

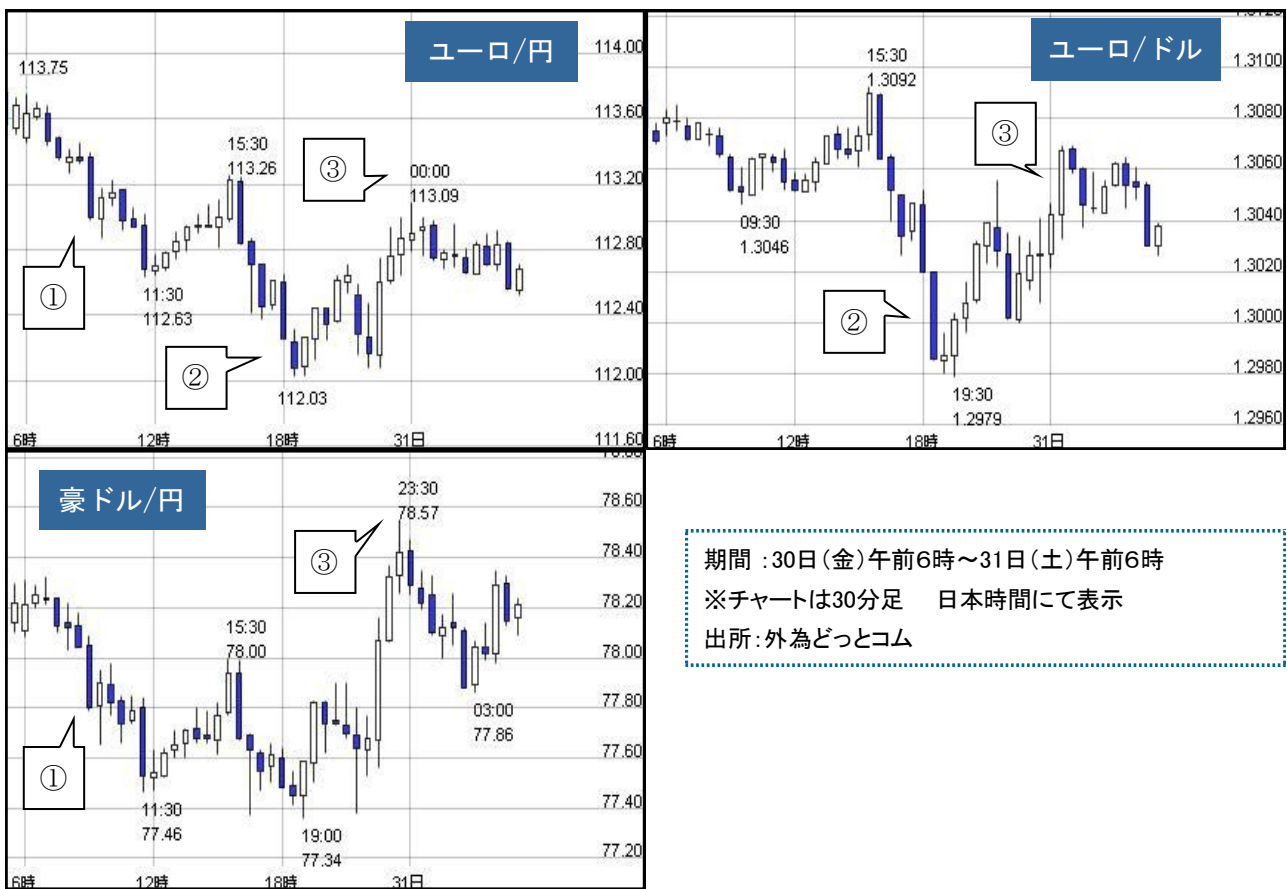
主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

8月2日(月曜日)

ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

リスク・オンには傾きにくい環境

7月30日(金)の主な推移



- ① 日経平均株価が軟調に推移した事で、リスク回避の動きから円高が進みユーロ/円は113円を割り込み、豪ドル/円は78円を割り込んで下落した。しかし午後の日経平均が下げ渋った事でユーロ/円や豪ドル/円も値を戻し、それぞれ大台を回復した。
- ② 欧州勢の参入後は、週末・月末のポジション調整から、ユーロ売りが優勢となった。格付け会社ムーディーズがスペインの格付け引き下げを警告したことや、同じくスペインの国債償還に絡んでユーロ売りが出るのではとの憶測もユーロ売りの材料となった。
- ③ 米第2四半期国内総生産(GDP)が、前期比年率で事前予想を下回る+2.4%となると、米国景気の減速が懸念され時間外のNYダウ先物が下げ幅を急拡大した。これを受けてリスク回避の円買いが強まると、ユーロ/円や豪ドル/円は一時下落したものの、その後発表された7月米シカゴ購買部協会景気指数が62.3と予想に反して改善していた事を受けて一時100ドル超下落していたNYダウ平均が急速に値を戻すと、ユーロや豪ドルを買う動きが強まった。原油先物価格の持ち直しも手伝い、豪ドル/円は78.57円の高値を付けたが、スペインの格下げ懸念などがくすぶるユーロの上昇は限定的であった。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2980-1.3130ドル
ユーロ/円 : 111.80-113.50円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.30-78.80円

30日に発表された米第2四半期国内総生産(GDP)が事前予想を下回った事で、2四半期連続で成長率が鈍化した事になり、改めて米国景気の先行きに不透明感が漂う結果となった。米国低金利政策の長期化観測を受けて、米国債利回りも再び低下傾向を強めており、ドル売りが強まりやすい環境にある。したがってユーロ/ドルについては底堅い推移が見込まれる一方で、米国景気減速に対する警戒感は強く、リスクを積極的に取る機運は高まりにくい事から主要国の株価の上値は重そう、ユーロ/円については上値が重い展開となりそう。 (神田)

本日の豪ドル/円相場は主要国の株価動向を睨んでの取引が継続しそうだ。30日の米第2四半期国内総生産(GDP)の発表を受けて、ドル売りが強まる中、豪ドル/米ドル相場は高値を更新して上昇しているが、米国景気の減速懸念から主要国株価の上値は重く、豪ドル/円の上昇は小幅にとどまっている。明日の豪準備銀行(RBA)・キャッシュターゲットでは、政策金利の据え置きが予想されている事から、本日の豪ドル/円相場は上値が重い展開が予想される。(神田)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/2(月)	23:00	◎	(米) 7月ISM製造業景況指数	56.2	54.0
	23:00		(米) 6月建設支出 [前月比]	-0.2%	-0.5%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com